

草地管理作業の開始

当场では、春から秋にかけて場内の約23ヘクタールで約700 tの牧草生産を、また、約33ヘクタールで延べ約10,000頭の放牧を行っていますが、雪解けを待ってその基盤となる草地への施肥作業を開始しました。

今後も、堆肥等を活用した循環型の飼料生産により、自給飼料の増産に努めることとしています。



ブロードキャスタによる肥料散布の様子